

1 管内概況

(1) 伊賀保健福祉事務所の概要(平成18年度体制)

伊賀保健福祉事務所組織及び所掌事務

所長(伊賀保健所長)

加藤 充子

保健衛生室

室長

伊藤 正和

《企画福祉課4名》 課長 木下 道生

- ・庶務、予算経理
- ・防災・危機管理
- ・人口動態
- ・広聴・広報
- ・免許事務
- ・各種計画
- ・介護保険・高齢者保健福祉
- ・障害者自立支援

《健康増進課 5名》 課長 村上 謙二

- ・栄養改善
- ・医務業務
- ・健康づくり
- ・結核・感染症対策
- ・救急医療
- ・予防接種
- ・エイズ対策

《地域保健課 6名》 課長 前山 和子

- ・難病対策
- ・精神保健福祉
- ・母子保健福祉
- ・心の健康づくり
- ・原爆被爆者対策
- ・臓器移植・肝疾患対策
- ・自立支援医療制度
- ・アスベスト相談・救済受付窓口

《衛生指導課 6名》 課長 大森 教全

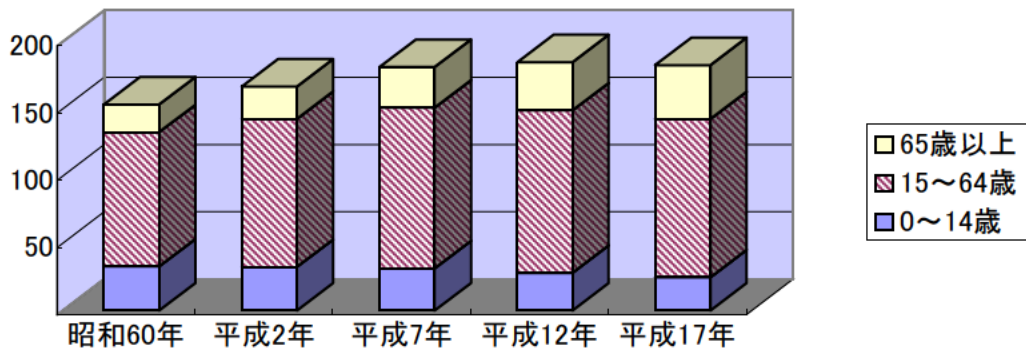
- ・食品衛生
- ・薬事
- ・献血、骨髄バンク
- ・狂犬病予防、動物の愛護及び管理
- ・理容、美容、クリーニング等生活衛生営業

(エ) 管内人口の推移(各年10月1日現在)

(平成17年度は国勢調査速報)

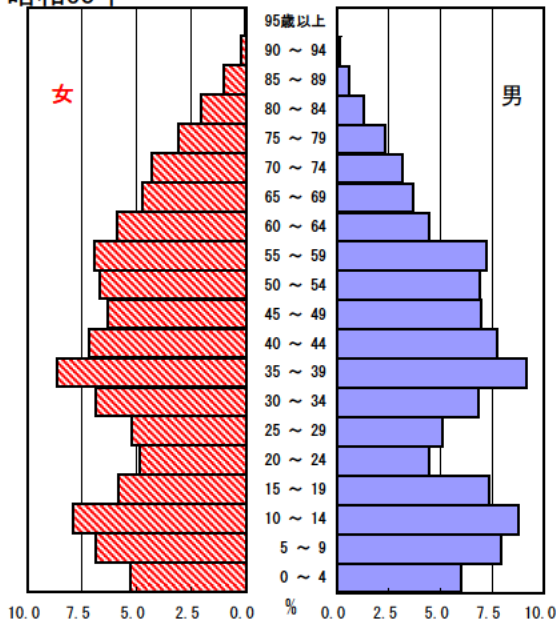
	昭和60年 1985年	平成2年 1990年	平成7年 1995年	平成12年 2000年	平成17年 2005年
計	153,320	166,685	181,348	184,831	182,779
伊賀市 (旧上野市)	60,812	60,242	60,986	61,494	100,623
名張市	56,474	68,933	79,913	83,291	82,156
伊賀市 (旧伊賀町)	10,214	10,256	11,154	11,014	
伊賀市 (旧鳥ヶ原村)	3,089	3,012	2,934	2,753	
伊賀市 (旧阿山町)	8,335	8,459	8,500	8,423	
伊賀市 (旧大山田村)	5,729	5,750	6,186	5,984	
伊賀市 (旧青山町)	8,667	10,033	11,675	11,872	

3区分別割合の推移

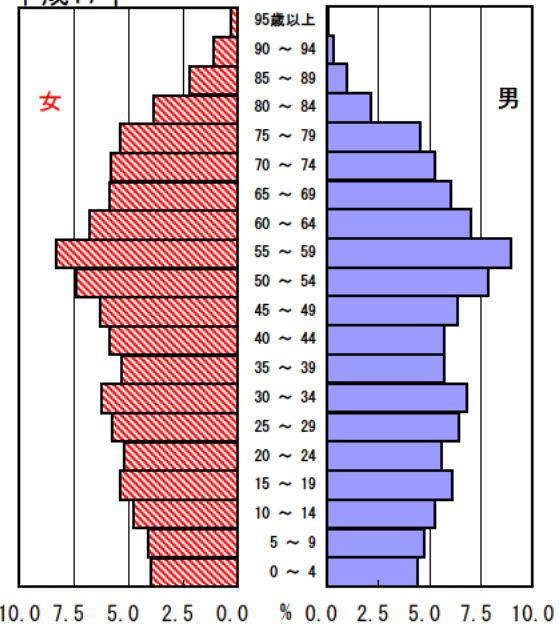


【管内の人口ピラミッド】

昭和60年



平成17年



(オ) 管内市町村の人口構成(概数)

(平成17年10月1日現在)

市名	総人口	年齢区分別人口			少年人口(18歳未満人口)				
		年少人口 (0~14歳)	生産年齢 人口(15~ 64歳)	老年人口 (65歳以 上)	0~5歳	6~11歳	12~14歳	15~17歳	計
管内	182,779	24,803	117,712	40,191	9,125	10,095	5,583	6,547	31,350
伊賀市	100,623	13,200	62,119	25,298	4,934	5,399	2,867	3,386	16,586
名張市	82,156	11,603	55,593	14,893	4,191	4,696	2,716	3,161	14,764
三重県	1,866,963	266,741	1,197,255	400,647	101,936	109,625	55,180	60,261	327,002

※年齢不詳者が存在するため、必ずしも合計数と一致しない。

(平成17年10月1日現在)

	年齢区分別割合			年齢構成指数			
	年少人口 (0~14 歳)	生産年齢 人口(15 ~64歳)	老年人口 (65歳以 上)	年少人口 指数	老年人口 指数	従属人口 指数	老年化指 数
管内	13.6	64.4	22.0	21.2	34.1	55.2	155.6
伊賀市	13.1	61.7	25.1	21.2	40.7	62.0	191.7
名張市	14.1	67.7	18.1	20.9	26.8	47.7	128.4
三重県	14.3	64.1	21.5	22.3	33.5	55.7	150.2

$$\text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口(0~14歳)}}{\text{生産年齢人口(15~64歳)}} \times 100$$

$$\text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口(65歳以上)}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{従属人口指数} = \frac{\text{年少人口} + \text{老年人口}}{\text{生産年齢人口}} \times 100$$

$$\text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

管内人口の年齢構成は高齢化が進んでおり、老年人口割合は22.0となっている。伊賀市では25.1と三重県の値を上回っているが、名張市は18.1と下回っている。

管内の年少人口指数については三重県の値を下回っているが、老年人口指数、老年化指数についてはいずれも三重県の値を上回っている。

(2) 相談等日程

	午前	午後	場所
月曜日			
火曜日	エイズ相談(要予約) 9:00~11:00		県 伊賀庁舎
水曜日	デイケア(第2・4週) 10:00~又は13:00~ ※プログラムにより時間帯は異なる		県 伊賀庁舎
	骨髄バンク(ドナー登録) (要予約) (第2週)9:00~12:00		県 伊賀庁舎
木曜日	結核相談 (第2・4週)12:30~13:30		県 伊賀庁舎
		食品衛生・薬事等相談 (第2・4週)13:30~15:00	名張市 保健センター
		精神保健相談(要予約) (第4週)14:00~16:00	県 伊賀庁舎
金曜日			

名張市保健センター所在地 名張市朝日町1361番地の4

(3) 管内の状況

ア 市町村の状況

種別 市町村	平成12年国勢調査		平成17年国勢調査(速報)				世帯数の 伸び率	人口の 伸び率
	世帯数	総人口	面積 (km ²)	世帯数	総人口	人口密度 (人/km ²)		
計	59,440	184,831	687.93	62,937	182,779	265.7	105.9%	98.9%
伊賀市 (旧上野市)	21,140	61,494	558.17	34,587	100,623	180.3	105.7%	99.1%
名張市	26,712	83,291	129.76	28,350	82,156	633.1	106.1%	98.6%
伊賀市 (旧伊賀町)	3,250	11,014						
伊賀市 (旧島ヶ原村)	792	2,753						
伊賀市 (旧阿山町)	2,362	8,423						
伊賀市 (旧大山田村)	1,679	5,984						
伊賀市 (旧青山町)	3,505	11,872						

平成16年11月1日伊賀市
合併により、世帯数の伸び
率及び人口の伸び率は、
合併前市町村の合計で計
算した。

イ 管内の概況

平成16年11月1日に上野市、伊賀町、島ヶ原村、阿山町、大山田村、青山町の6市町村が合併し、「伊賀市」が誕生したことにより、管内は名張市との2市体制となっています。

(ア) 位置・面積・気候

伊賀地域は、三重県の西北部、関西圏と中部圏のほぼ中央に位置するとともに、北は滋賀県、西は京都府、奈良県に接しており、古くから経済・文化ともに関西圏の影響を強く受けている地域です。

また、当地域は内陸盆地で、中央に上野盆地、南に名張盆地があり、東の鈴鹿、布引山系、西の笠置山系、南の室生火山群、北の信楽高原と標高500～800mの山々に囲まれ、総面積は687.93km²で、県土の約12%にあたります。

山地が約62% (421.37km²)を占めますが、盆地内は標高130～160mで、柘植川、服部川、木津川、名張川が流れ、伊賀市街、名張市街などを潤し、その全てが木津川に集まり、さらに淀川となって大阪湾に注いでいます。

伊賀地方の気候は、その位置と地形から内陸盆地特有の気候です。気温は年平均14℃前後で、県内でも比較的低温、寒冷地には当たりませんが、夏と冬や朝と夕の気温差が大きい内陸性気候の特徴を見せています。また、年間降水量は1,400mm程度と少なく、地形的な要因から夏期の雷及び春秋の霧の発生が多いところです。

(イ) 人口

伊賀地域の人口は、平成17年10月1日現在182,779人(平成17年国勢調査速報)であり、県の総人口に占める割合は約1割です。

昭和40年頃までは、高度成長期における県外流出が続き、各市町村とも減少していましたが、その後徐々に増加し、昭和55年以降の管内人口の増加率は県全体の増加率を大幅に上回る状況が続き、名張市では1.7倍、旧青山町では1.4倍に人口が増加しています。これは、伊賀南部の近鉄大阪線沿線の住宅開発等に起因するものです。しかしながら、平成12年をピークに僅かずつではありますが、減少傾向に転じています。

また、管内の65歳以上の老年人口は、平成17年10月現在で40,191人で、総人口に占める割合は、22.0%に達し、全県の老年人口の比率21.5%を上回っています。

(ウ) 交通

道路網については、東西幹線として名阪国道(亀山市～天理市)、国道25号(四日市市～大阪市)、国道163号(大阪市～津市)、国道165号(大阪市～津市)、南北幹線として、国道368号(伊賀市～勢和村)、国道422号(大津市～紀伊長島町)の主要幹線があり、また伊賀の各地区を環状に結ぶ伊賀コリドールロードの整備が進められています。

交通機関は、鉄道として東西に、北部のJR関西線、南部の近鉄大阪線が、南北にこの両者を結ぶ近鉄伊賀線が通じています。また北東部にはJR草津線が通っています。

このうち、近鉄大阪線については、関西圏の通勤の動脈として利便性が高くなっています。またJR関西線は、名古屋市と大阪市を最短ルートで結ぶ主要幹線鉄道であるものの単線・非電化であることから、輸送力の増大と利便性の向上が強く望まれています。



(カ) 社会福祉施設の状況

(平成18. 4. 1現在)(単位 箇所数)

区 分		伊賀市	名張市	計
児童福祉施設 (事業所)	助産施設	1	0	1
	養護施設	0	1	1
	知的障害児施設	0	1	1
	児童デイサービス事業所	0	2	2
	短期入所事業所	3	6	9
	児童館	3	3	6
	保育所	36	15	51
老人福祉施設 (事業所)	養護老人ホーム	3	1	4
	特別養護老人ホーム	8	4	12
	老人短期入所施設	8	4	12
	老人福祉センター	1	2	3
	ケアハウス	1	2	3
	デイサービスセンター	26	12	38
障害福祉施設 (事業所)	点字図書館	1	0	1
	盲人ホーム	1	0	1
	身体障害者療護施設	1	1	2
	身体障害者通所授産施設	0	1	1
	身体障害者小規模授産施設	0	1	1
	障害者生活支援センター	1	1	2
	知的障害者更生施設	0	2	2
	知的障害者更生施設(通所)	0	2	2
	知的障害者授産施設(通所)	5(2)	1	6(2)
	地域生活支援センター	0	1	1
	精神障害者通所授産施設	1	1	2
	精神障害者地域生活支援センター	0	1	1
	デイサービス事業所	5	3	8
	短期入所事業所	4	6	10
	グループホーム	3	12	15
	知的障害者生活ホーム	1	0	1
障害者小規模作業所	2	3	5	

※()内は分場の内数

(4)人口動態統計

ア 人口動態総覧

平成16年の人口動態(確定数)の概況は次のとおりである。

表1 人口動態総覧 (実数、率) 市町村別

	市町村 (県・全 国)	人口 (10月1日推 計)	出生			低体重児(再掲)			死亡			乳児死亡(再掲)		
			総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
実 数	全国	126,176,000	1,110,721	569,559	541,162	104,832	47,851	56,981	1,028,602	557,097	471,505	3,122	1,716	1,406
	三重県	1,868,865	16,287	8,323	7,964	1,418	636	782	16,030	8,499	7,531	38	19	19
	管内	183,993	1,423	719	704	116	49	67	1,654	876	778	3	2	1
	伊賀市	100,983	762	406	356	64	33	31	1,019	524	495	2	1	1
	名張市	83,010	661	313	348	52	16	36	635	352	283	1	1	-
率	全国		8.8	9.2	8.4	94.4	84.0	105.3	8.2	9.0	7.3	2.8	3.0	2.6
	三重県		8.7	9.2	8.3	87.1	76.4	98.2	8.6	9.4	7.8	2.3	2.3	2.4
	管内		7.7	8.1	7.4	81.5	68.2	95.2	9.0	9.9	8.2	2.1	2.8	1.4
	伊賀市		7.5	8.3	6.8	84.0	81.3	87.1	10.1	10.8	9.5	2.6	2.4	2.8
	名張市		8.0	7.9	8.1	78.7	51.1	103.4	7.6	8.8	6.6	1.5	3.2	-
		率の算出方法		人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生千 対	男子 出生 千対	女子 出生 千対	人口千対	男子人 口千対	女子人 口千対	出生 千対	男子 出生 千対

低体重児は出生体重2,500g未満のもの。乳児死亡は生後1年未満の死亡。

	市町村(県・全国)	新生児死亡(再掲)	死産			周産期死亡			婚姻	離婚	自然増加	合計特殊出生率
			総数	自然	人工	総数	妊娠満22週以後の死産	早期新生児死亡				
実数	全国	1,622	34,365	14,288	20,077	5,541	4,357	1,184	720,417	270,804	82,119	
	三重県	17	395	145	250	55	42	13	9,600	3,595	257	
	管内	1	35	10	25	5	4	1	852	367	△231	
	伊賀市	1	20	7	13	4	3	1	472	175	△257	
	名張市	-	15	3	12	1	1	-	380	192	26	
率	全国	1.5	30.0	12.5	17.5	5.0	3.9	1.1	5.7	2.15	0.7	1.29
	三重県	1.0	23.7	8.7	15.0	3.4	2.6	0.8	5.1	1.92	0.1	1.37
	管内	0.7	24.0	6.9	17.1	3.5	2.8	0.7	4.6	1.99	△1.3	1.29
	伊賀市	1.3	25.6	9.0	16.6	5.2	3.9	1.3	4.7	1.73	△2.5	1.33
	名張市	-	22.2	4.4	17.8	1.5	1.5	-	4.6	2.31	0.3	1.25
	率の算出方法	出生千対	(出産)千対			出生千対			人口千対			

△は減を示す。新生児死亡は生後4週未満の死亡。早期新生児死亡は生後1週未満の死亡。
死産は妊娠12週以後の死産の出産。後期死産は妊娠22週以後の死産。自然増加は出生数－死亡数。

$$\text{合計特殊出生率} = \sum_{\text{年齢15}}^{49} \frac{\text{母の年齢別出生数}}{\text{年齢別女子人口}}$$

(ア) 出生

管内の出生数は前年より42人減少し、出生率は7.7であった。市別にみると、伊賀市・名張市とも県の値8.7を下回っている。

(イ) 死亡

管内の死亡数は1,654人で前年より111人増加し、死亡率は9.0で前年を0.6ポイント上まっている。市別にみると、名張市は県の値を下回っているが、伊賀市は10.1と県の値を上回っている。

(ウ) 乳児死亡

乳児の生存は母体の健康状態や養育条件等の影響を強く受けることから、地域の衛生状態、生活水準を反映する指標として重視されている。管内の乳児死亡数は前年と同数の3人であったが、新生児死亡数は前年より1人減少している。

(エ) 死産

管内の死産数は前年より5人減少している。

人工死産率は17.1で三重県の値を2.1ポイント上回っているが、自然死産率は6.9で三重県の値を1.8ポイント下回っている。

(オ) 周産期死亡

母体の健康状態に強く影響される指標である。周産期死亡数は前年に比べ5人減少し、周産期死亡率は3.3ポイント下回った。

(カ) 婚姻と離婚

婚姻件数は852組で前年より78組減少した。婚姻率は4.6で三重県の値と比較すると0.5ポイント低くなっている。離婚件数は367件で前年より2件増加した。離婚率は1.99で三重県の値と比較すると0.07ポイント高くなっている。

(キ) 自然増加

管内の自然増加率は-1.3で三重県の値0.1を1.2ポイント下回っている。

イ 死亡の動向

死因別の死亡状況を次に示した。

表2 市町村別主要死因別死亡数・死亡率(人口10万人対)

平成16年確定数

		総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	死亡率	857.7	1.5	241.0	10.9	4.9	133.0	110.3	9.1	78.7	13.8	2.4	10.0	17.4	36.1	42.6	20.7
	死亡者数	16,030	28	4,504	203	92	2,485	2,062	170	1,471	257	45	186	326	674	797	387
管内	死亡率	898.9	2.7	266.3	10.3	4.9	125.0	113.6	3.8	71.7	15.8	3.3	9.8	17.9	57.6	41.3	20.1
	死亡者数	1,654	5	490	19	9	230	209	7	132	29	6	18	33	106	76	37
伊賀市	死亡率	1,009.1	1.0	267.4	8.9	5.0	158.4	126.8	4.0	85.2	19.8	5.0	12.9	17.8	55.5	51.5	18.8
	死亡者数	1019	1	270	9	5	160	128	4	86	20	5	13	18	56	52	19
名張市	死亡率	765.0	4.8	265.0	12.0	4.8	84.3	97.6	3.6	55.4	10.8	1.2	6.0	18.1	60.2	28.9	21.7
	死亡者数	635	4	220	10	4	70	81	3	46	9	1	5	15	50	24	18

表3 市町村別主要死因別年齢調整死亡率(人口10万人対)

平成16年確定数

	総数	結核	悪性新生物	糖尿病	高血圧性疾患	心疾患	脳血管疾患	大動脈瘤	肺炎	慢性閉塞性肺疾患	喘息	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の事故	自殺
三重県	414.51	0.74	130.03	5.66	1.91	59.35	46.75	4.05	29.50	5.75	1.09	5.80	7.05	11.05	26.54	18.02
管内	411.33	1.38	138.53	5.34	1.64	51.02	45.37	1.27	24.52	6.60	1.04	4.79	6.54	16.78	24.85	19.58
伊賀市	399.90	0.85	120.26	4.02	1.21	54.56	43.00	1.13	24.04	684.00	1.35	5.45	6.07	12.78	31.74	19.19
名張市	431.22	2.67	163.76	7.43	2.43	45.21	50.45	1.55	25.33	6.12	0.44	3.72	8.06	24.66	16.85	19.98

{観察集団の年齢χ歳(年齢階級)の死亡率×基準人口集団のその年

$$\text{年齢調整死亡率} = \frac{\text{年齢}\chi\text{歳(年齢階級)の人口} \text{の各年齢(年齢階級)についての総和}}{\text{基準人口集団の総数}} \times 100$$

基準人口 昭和60年モデル人口の使用

管内の死因順位では、第一位悪性新生物490人(総数に占める割合29.6%)、第二位心疾患230人(同様に13.9%)、第三位脳血管疾患209人(同様に12.6%)である。これら3大死因の総数に占める割合は56.2%となっている。

年齢構成を補正した年齢調整死亡率は、管内411.33であり、主な死因別では結核、悪性新生物、慢性閉塞性肺疾患、老衰、自殺が三重県の値を上回っている。

死因のうち、悪性新生物部位別死亡状況を表4に示した。

「胃」「肝及び肝内胆管」「気管・気管支及び肺」で半数近くを占めている。

表4 市町村別・性別・悪性新生物部位別死亡者数

平成16年確定数(単位:人)

市町村名	性別	総数	食道	胃	結腸	直腸 S状結腸 移行部及 び直腸	肝及 び肝胆 管	胆の う及び その他 の胆道	膵	気管、 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血 病	その他
三重県	計	4,504	115	740	341	183	430	231	343	965	149	86	86	835
	男	2,685	94	470	164	111	290	112	200	723	1	-	47	473
	女	1,819	21	270	177	72	140	119	143	242	148	86	39	362
管内	計	490	13	78	41	16	57	30	40	99	9	8	4	95
	男	302	12	51	23	9	37	16	19	77	-	-	1	57
	女	188	1	27	18	7	20	14	21	22	9	8	3	38
伊賀市	計	270	9	41	25	9	33	17	27	56	3	3	1	46
	男	154	8	23	13	5	18	10	10	42	-	-	-	25
	女	166	1	18	12	4	15	7	17	14	3	3	1	71
名張市	計	220	4	37	16	7	24	13	13	43	6	5	3	49
	男	148	4	28	10	4	19	6	9	35	-	-	1	32
	女	72	-	9	6	3	5	7	4	8	6	5	2	17